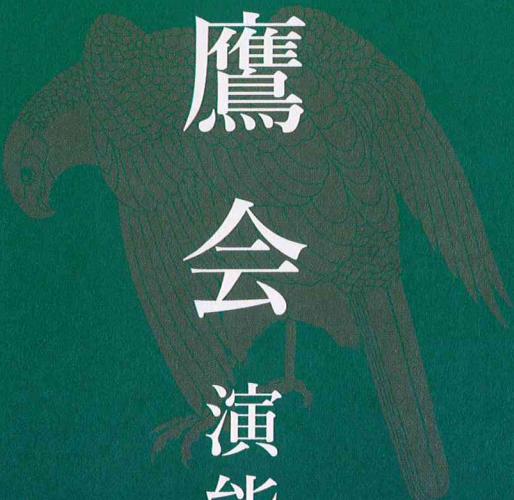




# 綠鷹会 演能会



令和元年

5月26日

日 入場無料  
第1部 10:30~  
有料公演  
第2部 12:20~16:30

大濠公園能楽堂



## 殺生石

せつしょくせき

花よ紅葉よ 月雪のふることも  
石に精あり 水に音あり  
風は大虚にわたる

天竺・唐で国を乱した妖狐は、ついに日本で射られ退治された。

しかしその核心は石となり、上空を飛ぶ鳥でさえ命を絶たれるといふ。  
この瀕世も白光のうちに浄化される最高境地のなか、静かに舞う。



## 江口

えぐち

和歌を介して西行に仏の道を説き示した遊女、江口の君。  
その身は普賢菩薩と化し、乗る川舟も白き象と変じ。  
この瀕世も白光のうちに浄化される最高境地のなか、静かに舞う。

<b>唯吉祥史</b> <small>（ひときよし）</small> <small>一九〇七（明治三〇）年一月二日生</small> <small>二世梅若實に師事</small>	<b>維教</b> <small>（ゆきのり）</small> <small>四世梅若實に師事</small>	<b>章弘雄紀</b> <small>（ひろゆき）</small> <small>四世梅若實に師事</small> <small>東京藝術大學在学中</small>
---	---	---

鷹尾家は柳川の鷹尾神社（869年～）の大宮司家を先祖とし、能樂師としては初代故唯吉から九十年近く家で、二代祥史、その長男維教、二男章弘の三人で活動しております。三人ともに国の重要無形文化財（総合認定）の保持者です。

章弘の長男雄紀は、東京藝術大学（音楽学部能樂専攻）に在学中で、これから本格的に修業を行います。

入場料	9,000円
	正面椅子席
	7,000円

正面椅子席以外の椅子席・正面横敷

3,000円

桟敷席（中正面・脇正面）



■鷹の会 092-711-8005 ■チケットぴあ 0570-02-9999  
【Pコード 493-863】 ■大濠公園能楽堂 092-715-2155  
9:00 ~ 17:00 月曜休

■主催：綠鷹会／株式会社 鷹の会

■後援：綠申会／綠菱会／鷹尾維教後援会／福岡城東ロータリークラブ／  
㈱ムートー輸送サービス／安藤皮膚科医院／杉 循環器科 内科病院／  
㈲イケマツマネージメント／㈱大興社／福岡運輸システムネット(株)／  
㈱明治産業

■お問い合わせ／綠鷹会 092-711-8005 (鷹の会)  
<http://takanoya-nohin.com>

第一部  
社中発表会（入場無料）

10時30分開演



鷹尾 章弘



鷹尾 祥史



鷹尾 維教

第一部 演能会（有料公演）

12時  
20分  
開演

殺生石 里女(化身) 野千子/精 鷹尾 玄翁和尚 御厨	西行桜 善知鳥 養老 仕舞	狂言	休	休	江 遊女 川副 憲一 口 晃平 里女(化身) 江口ノ君 鷹尾 章弘
能 休 憩 10分	鷹尾 梅若 祥史 吉住 博靖 講	野村 万祿 吉良 後見 杉山 俊広	地謡 山村 松山 今松山 角當中 直隆 透晶 山崎 正道 一夫 地謡 山崎 川口 正道 一夫 正 道 章弘 晃平 俊広	後見 小田切康陽 紀彰 御厨 萬祿 誠吾 融 善博 白坂 曾和 鼓童 保行 笛 松田 弘之 大鼓 小鼓 地謡 角當中 一夫 梅若 長左衛門 維教 鷹尾 梅若 長左衛門 維教 吉良 博靖 講 吉住 後見 杉山 俊広	江口ノ里人 梅若 從僧 御厨 野村 萬祿 誠吾 融 善博 白坂 曾和 鼓童 保行 笛 松田 弘之 嘉之 靖久 宮田 本土 嘉之 靖久
誠吾 大鼓 幸 白坂 信行 太鼓 吉谷 正佳 笛 松田 弘之 潔	鷹尾 梅若 実 祥史 吉良 博靖 講 吉住 後見 杉山 俊広	地謡 山崎 川口 正道 一夫 地謡 山崎 川口 正道 一夫 正 道 章弘 晃平 俊広	地謡 角當中 直隆 透晶 山崎 正道 一夫 地謡 山崎 川口 正道 一夫 正 道 章弘 晃平 俊広	地謡 角當中 直隆 透晶 山崎 正道 一夫 地謡 山崎 川口 正道 一夫 正 道 章弘 晃平 俊広	鷹尾 梅若 長左衛門 維教 吉良 博靖 講 吉住 後見 杉山 俊広

本日の漢字解説

自然	三道	蝉羽阿玉	杜敦芦春	海	土	鶴	敦												
居士	明輪寺	丸衣漕葛	若盛刈榮	人	蜘蛛	龜	盛吟												
山村	樋口	山下	西岡	田尻祥知	花生	宮原	田代	山野	黒岩	太田	春吉	田中	安藤村	吉田	花田	定飯	宮田山	原代野	
晃司	久人	尚登	慶子	久美	京子	陸人	研児	龍文	延峰	明二	トミ	恭か	涼子	眸子	尊順	牛鳴	案納	樋鶴山	山下村
小田切	梅若切	今村	鷹尾	梅若長左衛門	松崎	川鷹尾	口鷹尾	角當	鷹尾	菅原	西川田	新谷	森脇	坂本千	牛鳴	案納	古川	安藤村	山下村
康紀	陽彰	教一夫	維教	正隆	道之	晃平	章直	雄紀	維教	と	靖も	町奈	朋幸	邦鶴子	義泰	謙治	久辰巳	晃尚司	山下村
敦	連吟									子	ゑ	子	恵子	子	信				

先代の唯吉が緑鷹会の演能会を催して、八十八年目を数えるようでございます。